



六小だより

やさしく かしく たくましい子どもの育成

印西市立六合小学校
令和8年7月17日第499号
児童数62名
(男28名 女34名)

「やさしく・かしく・たくましく」

学びの輪が広がった1学期」

校長 久保谷 博

夏本番を思わせる暑い日が続き、子どもたちの元気な声が校舎や校庭に響いています。保護者の皆様、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

早いもので、1学期もまとめの時期を迎えました。4月に新しい学年がスタートしてから約3か月。子どもたちは日々の学習や様々な活動を通して、大きく成長しています。

学校では、「やさしく・かしく・たくましく」を合言葉に教育活動を進めています。最近の授業や学校生活では、子どもたちが自ら考え、友達と話し合いながら学びを深めていく姿が多く見られるようになりました。

理科の実験では結果をもとに考察を交流し、社会科では地域や社会の課題について話し合いながら考えを広げています。体育科では仲間と励まし合いながら活動し、生活科や総合的な学習の時間では地域に目を向け、自分たちなりの気づきや発見を積み重ねています。

こうした姿を見ていると、子どもたちは教師から教わるだけではなく、友達との関わりの中でも学びを深めていることを実感します。人数の少ない学校だからこそ、互いの考えを聞き合ったり、困ったときには自然と声を掛け合ったりする姿が日常の中にあります。そうした温かな関わりが、一人一人の学びや成長につながっていることを大変うれしく思います。

また、学習面だけではなく、登下校や清掃活動、委員会活動などでも、高学年が下級生を気に掛けながら行動する姿が多く見られます。低学年の子どもたちも上級生を手本にしながら学校生活を送り、学年を越えたつながりが自然と育まれています。こうした日々の積み重ねが、本校のよさを支えています。

まもなく夏休みを迎えます。夏休みは、学校ではできない様々な経験ができる貴重な機会です。家族との時間を大切にしたり、読書や自由研究に取り組んだり、地域の行事に参加したりするなど、自分の興味や関心を広げる時間にしてほしいと思います。

一方で、夏は事故や熱中症などへの注意も必要な時期です。熱中症や交通事故、水の事故などには十分気を付け、安全で健康な生活を送ってください。

45日間の夏休みを終え、ひと回り成長した子どもたちと2学期の始業式で再会できることを、今から楽しみにしています。



【9月の行事予定】

1	火	2学期始業式 登校指導 短縮(3) 下校 11:20 避難訓練	16	水	
2	水	給食開始 登校指導 4時間日課 下校 13:10	17	木	
3	木	4時間日課 下校 13:10	18	金	特別日課 13:10 下校
4	金	4時間日課 下校 13:10	19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	敬老の日
7	月	学校生活アンケート 3年栄養教室	22	火	国民の休日
8	火		23	水	秋分の日
9	水		24	木	
10	木		25	金	六合フェスタ 環境美化作業 10:30~11:30 PTA 役員会 16:00
11	金		26	土	
12	土		27	日	
13	日		28	月	環境美化週間 (～30 日)
14	月	3年スーパー見学 スクールカウンセラー勤務日	29	火	
15	火	体力テスト	30	水	スクールカウンセラー勤務日



【登下校の時刻について】

◎登下校について、再度の確認をお願いします。7:40～7:55

○登校前や下校後の児童の安全確保が強く求められています。

始業前や下校後に職員が十分に付けない場合がありますことを御了承ください。

○学校は始業から終業までの指導を担っています。

学童クラブへの連絡・調整は、保護者から直接、行ってください。

○警報が発令された場合、学童クラブは閉鎖されます。学校も引き渡し下校になります。お迎えをお願いします。



【平和教育について】

6月23日の給食の時間に、お昼の放送を通じて子どもたちへ「沖縄慰霊の日（6月23日）」についての話をしました。学校では、過去の歴史に目を向け、今ある平和な毎日の大切さを実感する「平和教育」を大切にしています。子どもたちに伝えた内容は以下の通りです。

（子どもたちに伝えたこと）

- ・6月23日は、昔沖縄で激しい戦争が終わった日であり、亡くなった方々を大切に想う日であること。
- ・みんなと同じような子どもたちを含む、たくさんの「普通のひとたち」が巻き込まれてしまった悲しい歴史があること。
- ・毎年この日には、沖縄の人たちを中心に、みんなで静かに祈り（黙祷）を捧げていること。
- ・この日はただ悲しむだけでなく、「戦争は絶対にだめだ」「みんなで仲良く平和に暮らそう」と、未来に向けて心に誓う日であること。

放送中、子どもたちは静かに耳を傾け、真剣な表情で聞いていました。また、私たちの暮らす印西市では、市制施行30周年を迎える今年度から、新たな取り組みとして「中学生平和学習派遣事業」がスタートします。これは、市内の代表の中学生が被爆地である広島市を訪れ、平和記念式典への参列や現地での学習を通じて、原爆の悲惨さと平和の尊さを学ぶものです。小学生の子どもたちにとっては少し先のお話になりますが、このように自分たちの住む街全体で、戦争の記憶を風化させず、平和のバトンを未来へつなぐ活動が始まっています。今回の話をきっかけに、小学校から中学校へ進んでも、平和や命の尊さについて考え続ける心を育てていきたいと思います。

御家庭におかれましても、お昼の放送や、印西市の広島派遣事業のことなどを一つのきっかけとして、「平和ってなんだろう？」とお子様とお話ししていただければ幸いです。

今後とも、子どもたちが心豊かに育つよう、職員一同努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。